

水田の貯留機能増進に関するアンケート調査

農会長 様、土地改良区理事長 様

「水田の貯留機能増進」に関するアンケートにご協力をお願いします。

水田には、大雨の時に雨水を一時的に貯め、時間をかけて徐々に下流に流すことによって、河川及び水路の洪水被害を軽減する働きがあります。(洪水防止機能、貯留機能)

県及び市町では、この働きをもう少し高めて、下流の農地や家屋の浸水被害を軽減させることを検討しています。

ほ場整備がされ、稲作をしている水田で20cmほど貯留し、堰板の工夫によって徐々に排水できるような、手間のかからない仕組みを考えています。



つきましては、以下の質問についてあなたの考えをお答えください。(該当するものに○)

1. このような行政の取り組みについてどう思いますか。

- ① 積極的に取り組みたい。
- ② 条件があれば、取り組みに協力する。
- ③ そのような取り組みには協力しない。

堰板の工夫で何か良いアイデアがありましたら、裏面にメモ書きして下さい

2. 1で「③取り組みない」と回答された方へ。

その理由はなんですか。(複数回答可)

- ① 稲への被害がある。
- ② 面倒である。
- ③ 隣の田に迷惑がかかる。
- ④ 畦畔高さが低く、20cmの貯留はできない。
- ⑤ 水田の乾きが悪くなり、稲刈りに支障がでる。
- ⑥ その他 ()



3. 取り組むにあたっての条件整備として、次のどれが必要ですか。(複数回答可)

- ① 堰板取り外しなどに手間のかからない管理(今ある排水口のままで、堰板を工夫して)
- ② 畦畔の補強(20cm程度の貯水ができるように)
- ③ 稲作の時期によっては取り組みない(取り組みないは、収穫.....日前、)
- ④ 水稻被害(減収)があった場合の補償
- ⑤ 畦畔が崩壊した場合の復旧(個人負担なし)
- ⑥ 暗渠排水の施工による早期乾田化対策(個人負担無し)
- ⑦ その他 ()

4. 広い範囲で取り組むには、どうすれば出来ると思いますか。
- ① 手間のかからないことを農家によく説明する。(理解してもらう)
 - ② 3の問いに掲げる条件整備を行う。
 - ③ 農地・水・環境保全向上対策の1項目として実施する。
 - ④ 集落又は農会で取り組むための規約を作る。
 - ⑤ 農家と行政(県、河川管理者など)との間で、両者の役割を定めた実施協定を結ぶ。
 - ⑥ 集落又は農会と行政との間で、実施協定を結ぶ。
 - ⑦ その他 ()
5. 集落(地区)内の管理転作田(耕作していない転作田)を雨水の一時貯留施設として活用できますか。
- ① できる (ただし、)
 - ② できない(その理由は、)
6. 集落(地区)内の遊休田(放棄田)を雨水の一時貯留施設として活用できますか。
- ① できる (ただし、)
 - ② できない(その理由は、)
7. さいごに、おおよその見当で結構です。
- あなたの集落(地区)で取り組もうとした時、
- ① 農家の何割ほどが取り組むと思いますか。 ()割程度
 - ② 集落(地区)内の農地面積の何割ほどが取り組めるとと思いますか。
集落(地区)内農地面積()ヘクタールのうち()割程度
 - ③ 集落(地区)内の管理転作田はどのくらいありますか。()アール程度
 - ④ 集落(地区)内の遊休田はどのくらいありますか。()アール程度

(その他ご意見がありましたらお書き下さい)

.....

.....

(差し支えなければ)

地区名(集落名): _____

氏 名 _____

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れて返送願います。



問い合わせ先：〇〇農林振興事務所 農村整備課

(後日、追加でお聞きすることがあるかもしれませんが、その際は協力をお願いします。)

「水田の貯留機能増進」に関するアンケート集計結果

1. 調査対象

流域内の農振農用地の農会長、土地改良区理事長

2. 配布回収方法

郵送配布回収方式

3. 実施期間

平成19年3月5日～3月12日

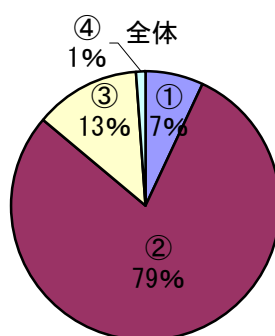
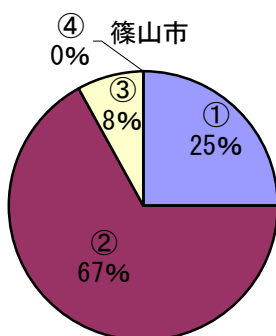
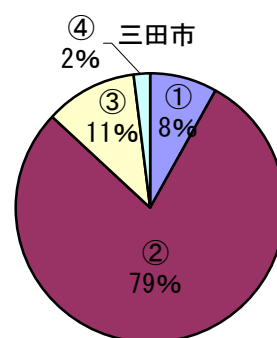
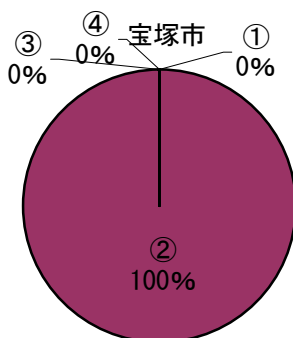
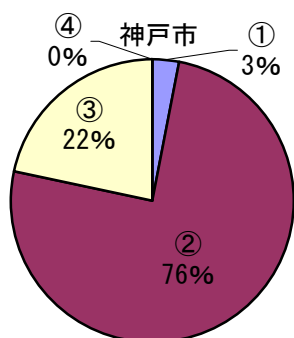
4. 集計回答数及び回収率

	配布枚数	回答数	回収率
神戸市	49	37	76%
宝塚市	10	10	100%
三田市	92	62	67%
篠山市	20	12	60%
全体	171	121	71%

設問(1) このような行政の取り組みについてどう思いますか。

① 積極的に取り組みたい。
② 条件があれば、取り組みに協力する。
③ そのような取り組みには協力しない。
④ 無回答

	神戸市		宝塚市		三田市		篠山市		全体	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
①	1	3%	0	0%	5	8%	3	25%	9	7%
②	28	76%	10	100%	49	79%	8	67%	95	79%
③	8	22%	0	0%	7	11%	1	8%	16	13%
④	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	1	1%
合計	37		10		62		12		121	

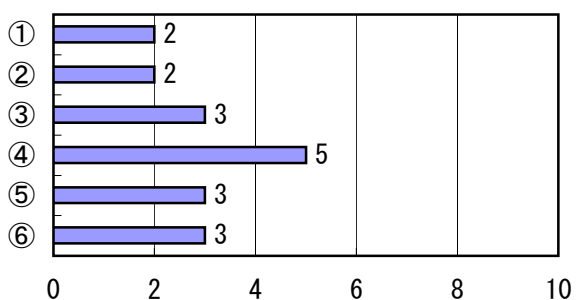


設問(2) 設問(1)で「③取り組まない」と回答された方へ。
その理由はなんですか。(複数回答可)

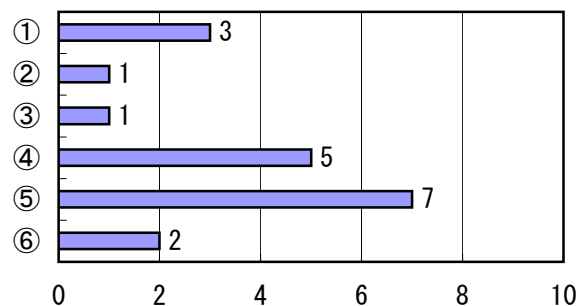
① 稲への被害がある。
② 面倒である。
③ 隣の田に迷惑がかかる。
④ 畦畔高さが低く、20cmの貯留はできない。
⑤ 水田の乾きが悪くなり、稲刈りに支障がでる。
⑥ その他

	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
①	2	0	3	0	5
②	2	0	1	0	3
③	3	0	1	0	4
④	5	0	5	2	12
⑤	3	0	7	2	12
⑥	3	0	2	0	5

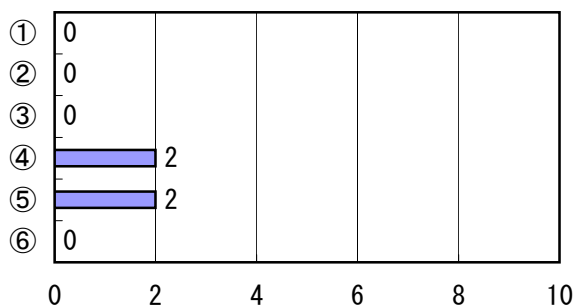
神戸市



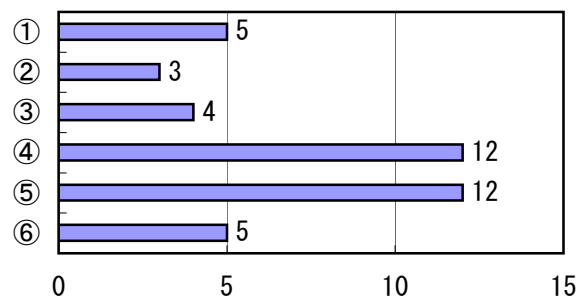
三田市



篠山市



全体



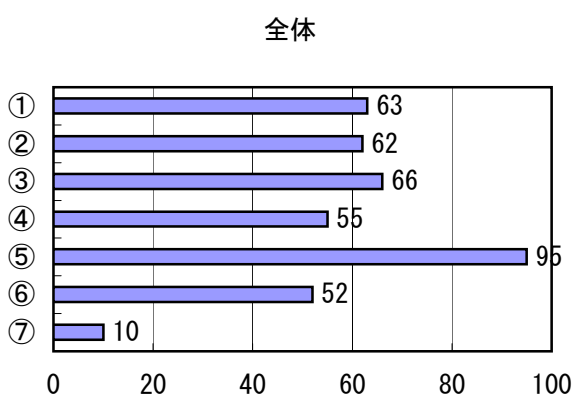
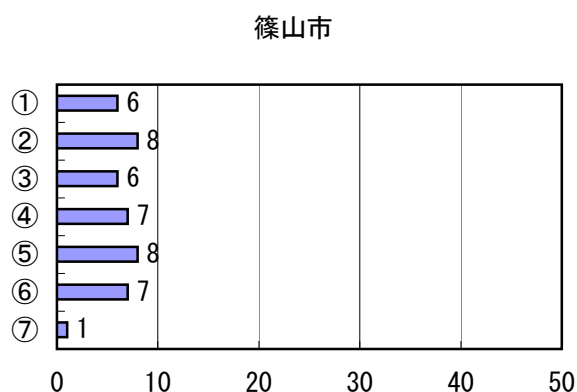
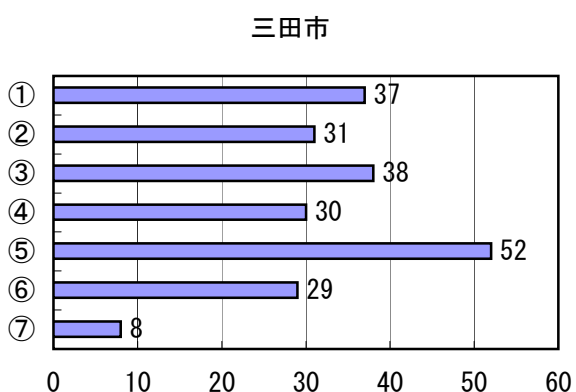
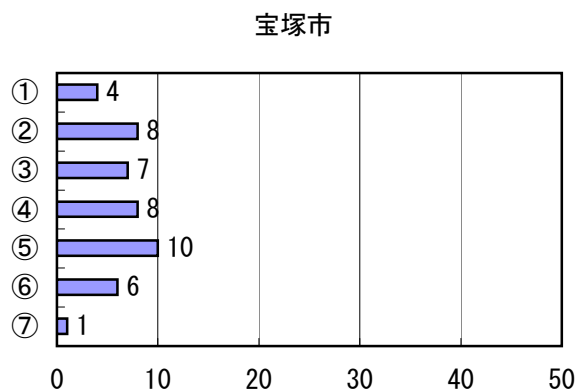
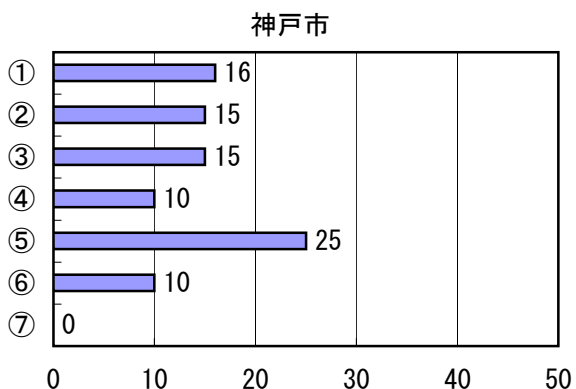
【その他】

- ・ 山際に田があるため、雨が降ると全部田に流れ込む。法面が高く畦畔が低いとオーバーして、今迄にも畦畔が崩壊した。
- ・ 協力する人はいない。水もあるし、かと言って危険度も低い地域。
- ・ 圃場整備がされて無く田畑の面積が小さい
- ・ 畔の高さが高く畔が崩壊する
- ・ 以前水害により畦畔がくずれた被害が出ている。

設問(3) 取り組むにあたっての条件整備として、次のどれが必要ですか。(複数回答可)

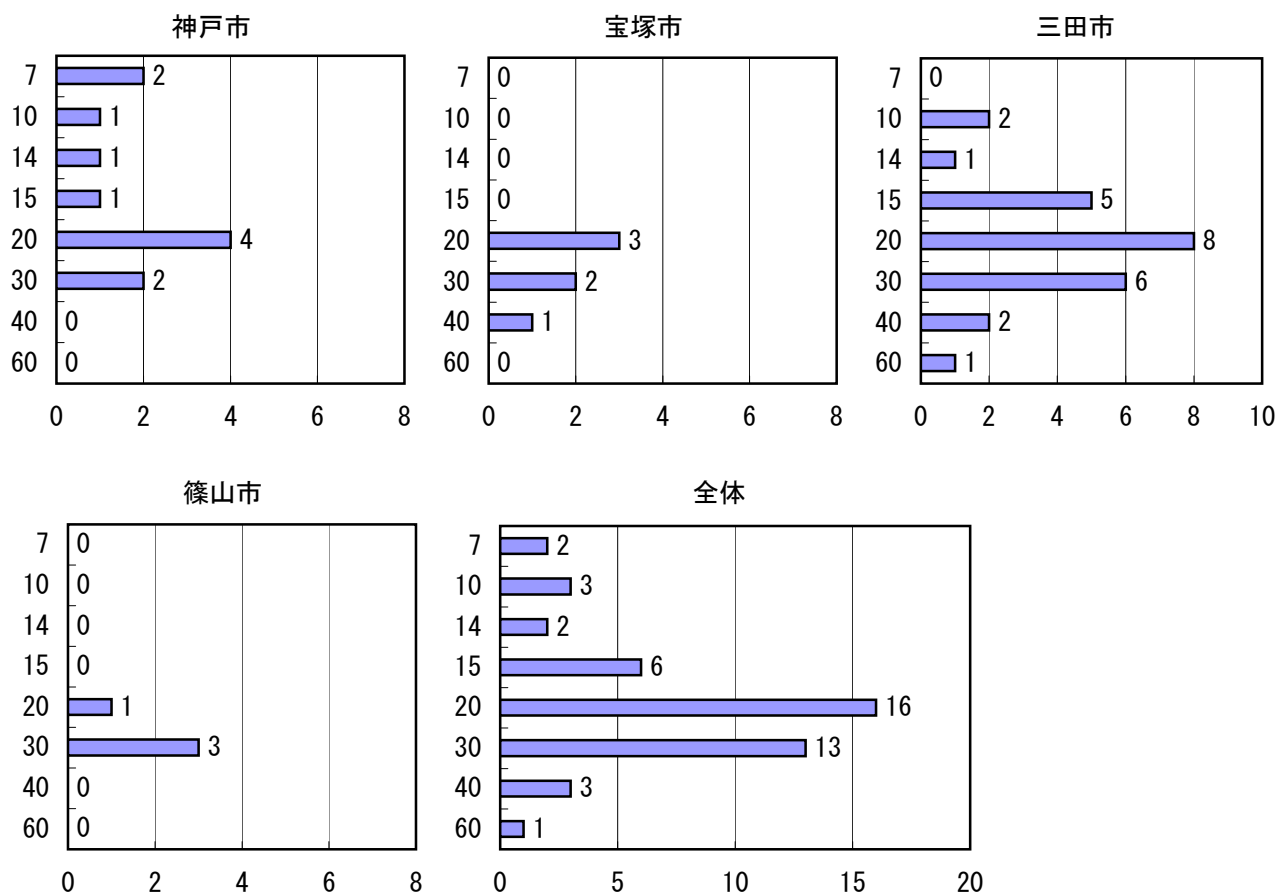
① 堰板取り外しなどに手間のかからない管理（今ある排水口のままで、堰板を工夫して）
② 畦畔の補強（20cm程度の貯水ができるように）
③ 稲作の時期によっては取り組めない（取り組めないは、収穫__日前、 ）
④ 水稻被害（減収）があった場合の補償
⑤ 畦畔が崩壊した場合の復旧（個人負担なし）
⑥ 暗渠排水の施工による早期乾田化対策（個人負担無し）
⑦ その他

	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
①	16	4	37	6	63
②	15	8	31	8	62
③	15	7	38	6	66
④	10	8	30	7	55
⑤	25	10	52	8	95
⑥	10	6	29	7	52
⑦	0	1	8	1	10



【③稲作の時期によっては取り組めない（取り組めないは、収穫__日前）】

収穫__日前	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
7	2	0	0	0	2
10	1	0	2	0	3
14	1	0	1	0	2
15	1	0	5	0	6
20	4	3	8	1	16
30	2	2	6	3	13
40	0	1	2	0	3
60	0	0	1	0	1



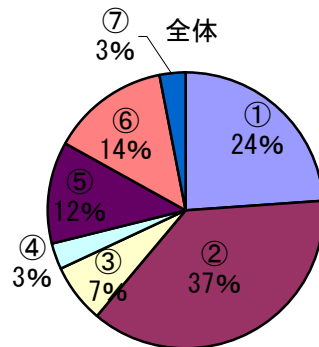
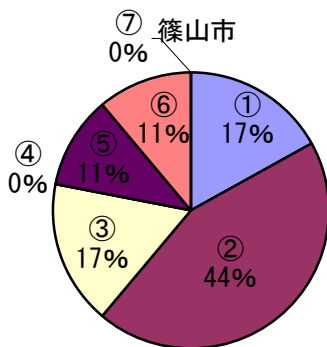
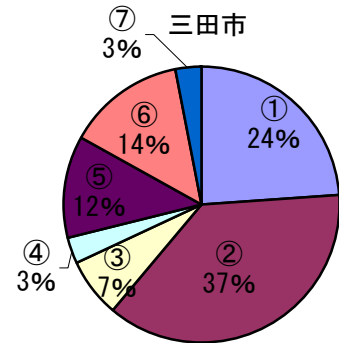
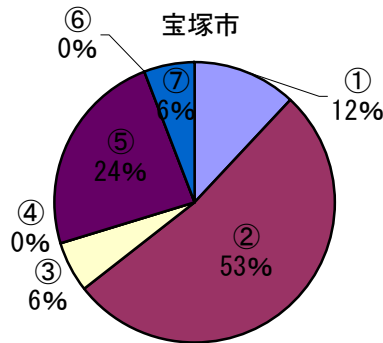
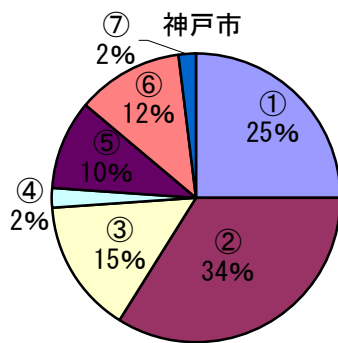
【その他】

- ・ 隣接田に災害が出た時の補償の問題
- ・ 用水をパイプラインにしてみたい
- ・ 肥料、除草剤の流出対策
- ・ 当地区においては排水が非常に悪く、稲刈直前は難しい
- ・ 圃場整備のアゼ工事において石が多く水もちが悪い、現在の形状で20cmの確保はムリ
山田では倒伏が多く余計に収量、品質低下につながるのでは？
- ・ ほとんどの農家がこの様な排水口をしている
- ・ 雨が降っている中での作業になるので、カンタンに出来る様に工夫
- ・ 圃場整備されていない
- ・ 稲刈りで稲わらをコンバインで切断して水田に散らしている。すき込むまでに水を張ると流れたり一方に片寄るのでこの時期も難しい。
- ・ 武庫川の掘り下げ、又は田圃の嵩上げ及び排水路、給水路の改修工事

設問(4) 広い範囲で取り組むには、どうすれば出来ると思いますか。

① 手間のかからないことを農家によく説明する。(理解してもらう)
② 3の問いに掲げる条件整備を行う。
③ 農地・水・環境保全向上対策の1項目として実施する。
④ 集落又は農会で取り組むための規約を作る。
⑤ 農家と行政(県、河川管理者など)との間で、両者の役割を定めた実施協定を結ぶ。
⑥ 集落又は農会と行政との間で、実施協定を結ぶ。
⑦ その他

	神戸市		宝塚市		三田市		篠山市		全体	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
①	15	25%	2	12%	30	24%	3	17%	50	23%
②	20	34%	9	53%	46	37%	8	44%	83	38%
③	9	15%	1	6%	9	7%	3	17%	22	10%
④	1	2%	0	0%	4	3%	0	0%	5	2%
⑤	6	10%	4	24%	15	12%	2	11%	27	12%
⑥	7	12%	0	0%	17	14%	2	11%	26	12%
⑦	1	2%	1	6%	4	3%	0	0%	6	3%
合計	59		17		125		18		219	



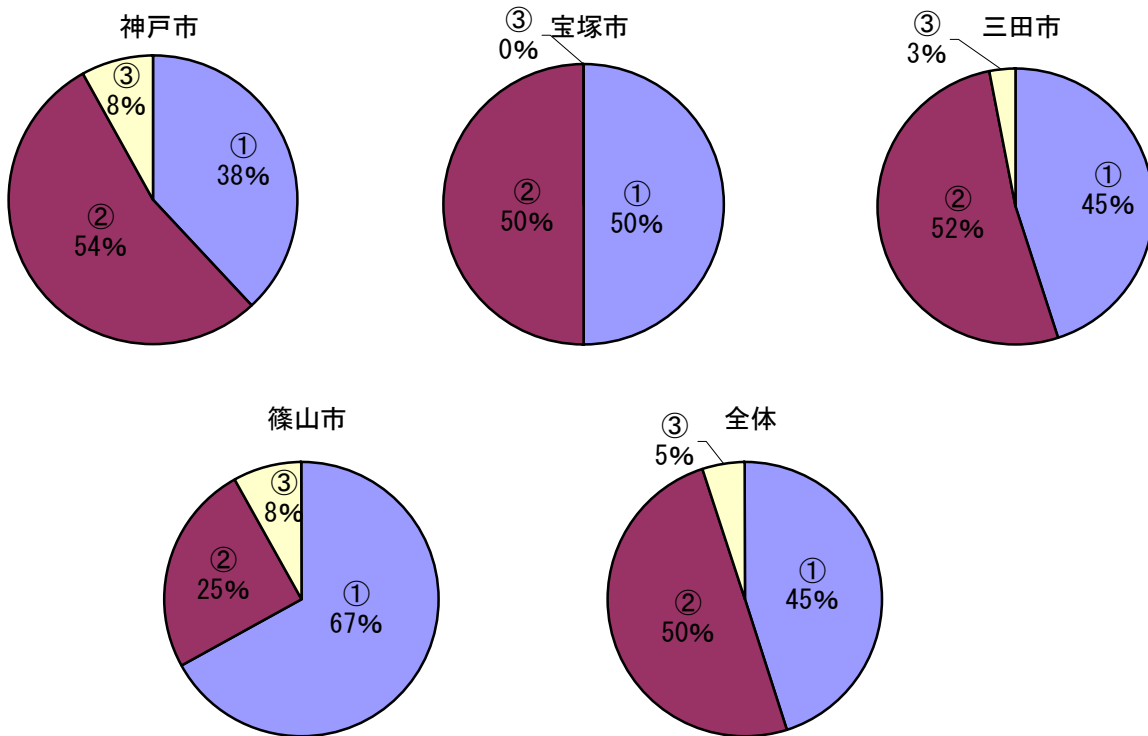
【その他】

- ・ 専業農家が少ない場合の取組み方は？
- ・ 普通の雨量時ではなく異常雨量の場合は特に排水をしなければモグラの穴よりの土手崩れを心配する。畦シートを無料で草刈時当たらないよう埋め込んでもらえればと思います。
- ・ 少数の反対者は除外で進める、全員の同意条件前提は無理
- ・ 堰板の個人対応は難しいと考える
- ・ 協力は出来るが、雨が降る前にうまく日時が合うか問題
- ・ 現在の稲作りの実態をよく理解すること

設問(5) 集落(地区)内の管理転作田(耕作していない転作田)を雨水の一時貯留施設として活用できますか。

① できる
② できない
③ 無回答

	神戸市		宝塚市		三田市		篠山市		全体	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
①	14	38%	5	50%	28	45%	8	67%	55	45%
②	20	54%	5	50%	32	52%	3	25%	60	50%
③	3	8%	0	0%	2	3%	1	8%	6	5%
合計	37		10		62		12		121	



【①できる：ただし書きの内容】

- ・ 転作、休耕田は圃場条件が悪い。段々田や水もちが悪い等
- ・ 農家によく説明し、理解してもらおう
- ・ 畦畔崩壊等の行政負担の復旧
- ・ 何等かの補償を盛込んだ協定が必要と思う
- ・ 畦畔の崩壊した場合の復旧
- ・ 地権者の了解が必要
- ・ 一時(調整水田のみ)
- ・ 一部地域に限る
- ・ 水田の乾きが悪くなり稲刈りに支障がある
- ・ 畦畔高さを高くする必要がある
- ・ 3の条件(②③④⑤)しだい
- ・ 畦畔より漏水防止の整備が必要である
- ・ 3の問いに揚げる条件(①②③④⑤⑥)整備を行う
- ・ モグラの穴が原因で崩れたとしても個人負担無しとでもなればできる
- ・ 良い田に限る
- ・ 農家の許可がいる
- ・ 畦畔の補強及び崩壊した場合の復旧が必要
- ・ 飛来野鳥のフン害対策、全員の同意条件は無理
- ・ 管理手間の問題解決必要

- ・ 条件整備が必要
- ・ 管理転作田においては可と思う
- ・ 3の①②⑤が条件
- ・ 本当の気休め程度
- ・ 小面積で貯留量も少ない
- ・ 問3の条件（①③④⑤⑥）整備要
- ・ 助成金の交付
- ・ 面積が少ない
- ・ 調整水田だけ
- ・ てあぜが施されてない事による畦畔の崩壊が心配
- ・ ほとんど県市がやってくれるなら
- ・ 洪水対策奨励金→3の間（②⑤）を満たす。
- ・ 畦畔の補強が必要
- ・ 3の条件（①⑤）整備をした上で集落農会で対応する必要がある
- ・ できると思う。
- ・ 地形的な条件でできないところもある。

【②できない理由】

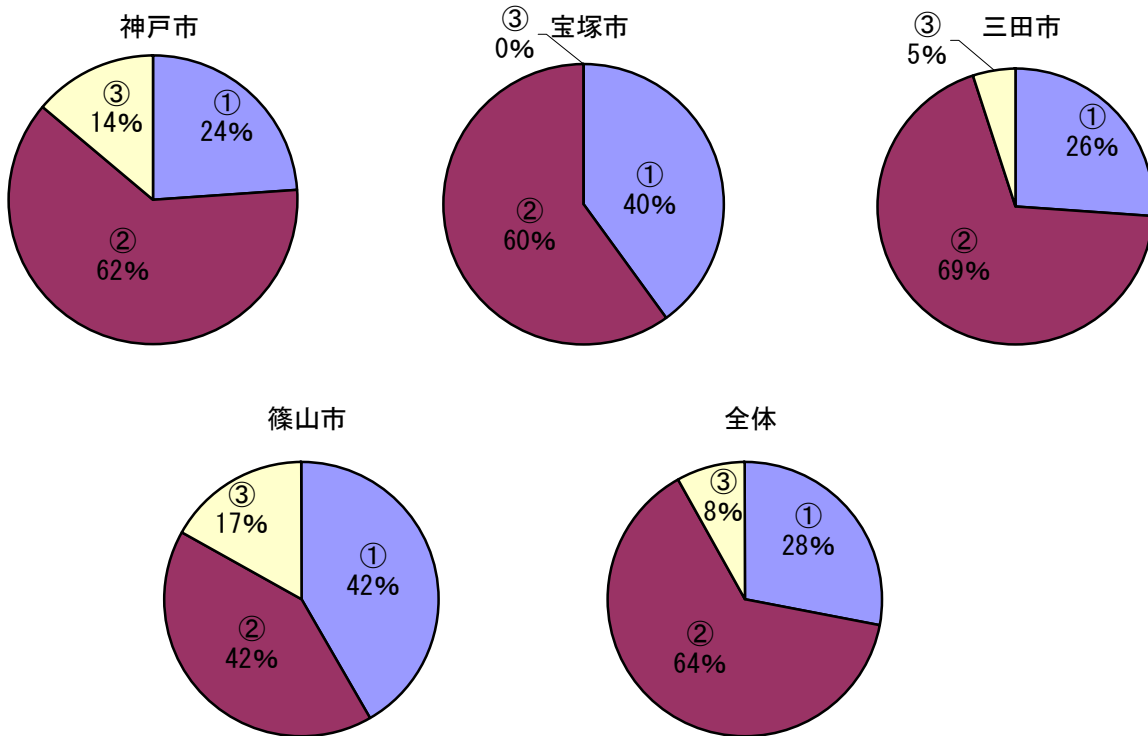
- ・ 小規模農家なので、あまり感心が無い
- ・ 長く水田として使用していないので、もぐらの穴が多すぎる
- ・ 協力する人はいない、水もあるし、かと言って危険度も低い地域
- ・ 排水が悪い
- ・ 畦畔の崩壊、雑草処理
- ・ 手間がかかるから
- ・ 管理転作田に手間をかけたくないのが多くの人の考えだと思うので
- ・ 耕作していない転作田なし
- ・ 所有者が近隣にすんでいない
- ・ 水路利用
- ・ 地盤が軟弱な為
- ・ 上流での荒廃田が多い。又、その荒廃田の地主がいない為
- ・ 当地区では、雑草管理の為にトラクター等で鋤返している。農家が多く、水を貯めるとそれが出来ず雑草管理がむずかしい。畦畔の水漏れ処理をしないと崩壊の可能性がある。
- ・ 個人の田なので制約できない。
- ・ 工事用車両が入れない。
- ・ 地区は水持ちが悪いカゴ田を転作田としている
- ・ 転作用の周囲作付との関係
- ・ 貯留の為の手間をかけられない
- ・ 毎年転作田が変わる
- ・ 条件に合った転作田はあまりない
- ・ 水もちが悪いだろう
- ・ 畦畔高の危険性から考えて、高い水位はダメ
- ・ そのような考えをしたことがない
- ・ 地区外での耕作者が多い
- ・ 毎年対象の田が変わる
- ・ 畦畔の管理充分とは言えない
- ・ 水利悪いので耕作していないことがある
- ・ 保水能力が無い
- ・ 水田の現状では20cmの水位は無理
- ・ 畦畔の補強をしないとだめ
- ・ 代かきをしていないので水がもたない
- ・ 産地づくり対策を村で取組む為管理転作なし
- ・ 対象面積が少ない
- ・ 管理転作田はほぼ無い。また有るとしても未整備田
- ・ 畦畔の高さが低い、時期による

- ・ 手間がかかる
- ・ 今までに洪水被害等は無かったので
- ・ 長い間水田にしていない農地は、水が畦から流出して畦が崩壊してしまう為。
- ・ 畦が貯留できるほど頑丈でない。
- ・ 昔の米作りと、今は米作りに田の補強していない為。畦などが水を入れる、クズレやすい為。
- ・ 畦等の管理の状態が悪い
- ・ 管理転作が少ない。

設問(6) 集落（地区）内の遊休田（放棄田）を雨水の一時貯留施設として活用できますか。

① できる
② できない
③ 無回答

	神戸市		宝塚市		三田市		篠山市		全体	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
①	9	24%	4	40%	16	26%	5	42%	34	28%
②	23	62%	6	60%	43	69%	5	42%	77	64%
③	5	14%	0	0%	3	5%	2	17%	10	8%
合計	37		10		62		12		121	



【①できる：ただし書きの内容】

- ・ 水持ちが悪い、地すべりの要因となる可能性有
- ・ 何等かの補償を盛込んだ協定が必要と思う、補償については減額…
- ・ 一部地域
- ・ 畦畔が崩壊した場合（個人負担なしで）
- ・ 畦畔高さを高くする必要がある
- ・ 3の条件（②③④⑤）しだいと思われる
- ・ 畦畔より漏水防止の整備が必要である
- ・ 整備が大変である
- ・ 畦畔崩壊の場合個人負担なしなら
- ・ 農家の許可がいる
- ・ 畦畔の補強及び崩壊した場合の復旧が必要
- ・ 所有者の了解が必要
- ・ 条件整備が必要
- ・ 3の①②⑤が条件
- ・ 行政と地主とで契約する必要がある
- ・ 問3の条件（①③④⑤⑥）整備要
- ・ 畦畔が荒廃し、貯留ができない
- ・ 助成金の交付
- ・ ほとんどない

- ・ てあぜが施されてない事による畦畔の崩壊が心配
- ・ 水漏れなどの確認や水路の補修の必要性があるかもしれない
- ・ ほとんど県市がやってくれるなら
- ・ 助成が、また手を入れる必要と思われる
- ・ 貯留施設としての条件が要件、集落、農会で管理
- ・ 地形的な条件でできないところもある。

【②できない理由】

- ・ 小規模農家なので、余り感心がない
- ・ 長く水田として使用していないので、もぐらの穴が多すぎる
- ・ 放棄田なし
- ・ 現状管理耕作不可能で放棄田となっており、雨水の管理も不可能（理解が求められない）
- ・ 協力する人はいない、水もあるし、かと言って危険度も低い地域
- ・ 復旧できない圃場がある
- ・ 排水が悪い
- ・ 畦畔崩れ、雑草の繁茂
- ・ 代かきしないので貯留機能がない
- ・ 管理が出来ないから
- ・ 遊休田を活用することは、理解と協力がむずかしい
- ・ 遊休田等なし
- ・ 遊休田はほとんどない
- ・ 所有者が近隣に住んでいない
- ・ 川に近いから
- ・ 土地が軟弱な為
- ・ 地主が地区にいない為
- ・ 個人の田なので制約できない。
- ・ 工事用車両が入れない。
- ・ 水持ちが悪いカゴ田で又、高地の為
- ・ 転作田の周囲作付との関係
- ・ 水を貯留できる状態ではない
- ・ 圃場整備していない為田が小さく畦が弱い
- ・ 条件に合った転作田はあまりない
- ・ 個人所有権と所有者のやる気、非所有権者は立ち入れない
- ・ 水もちが悪いだろう
- ・ 作業力がない
- ・ 平素貯留施設としての管理が出来ていない
- ・ 畦畔がもたない（管理不足）
- ・ 全員が耕作、転作を行っている
- ・ 荒廃地、貯留能力にギモン点あり
- ・ 遊休田は農地及び畑にもどせるので
- ・ 水利悪いので耕作していないことがある
- ・ 保水能力が無い
- ・ 作付していないから逆に畦畔が弱っている
- ・ 畦畔の補強と遊休田がない
- ・ 代かきをしていないので水がもたない
- ・ 遊休田はほぼ無い。また有るとしても未整備田
- ・ 管理しにくい
- ・ 水を貯める様にするには大変である
- ・ 個人（所有者との確認は難しい）との話し合い。
- ・ 雑草、畦畔のゆるみ
- ・ とくに放棄田は、貯留条件に合わない。
- ・ 他の農地への影響が出る。
- ・ 畦畔から水が漏れ貯留できない。
- ・ 管理放棄による遊休田が多いと思える。

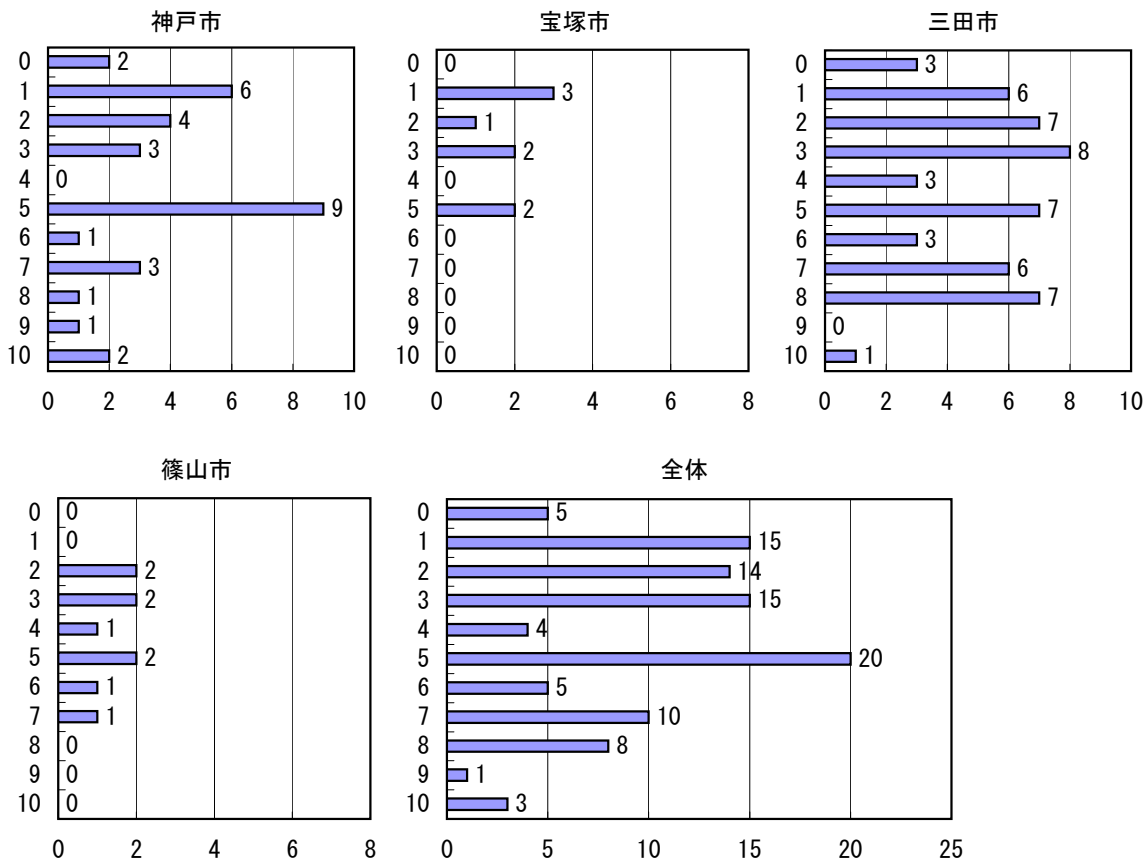
- ・ 現状では、農家一人一人に聞かないとわからない。
- ・ 畦等の管理で水もれが大と思う
- ・ 放棄田に何時誰が水を引くのか、又放棄田には貯水能力があるとは思えない
- ・ 放棄田は十分な管理がされていなく、漏水もはげしくその管理をだれがするのか
- ・ 山合の土地であり、水量が少ない土地
- ・ 他者に渡っているものがある。

設問(7) さいごに、おおよその見当で結構です。
 あなたの集落（地区）で取り組もうとした時、

① 農家の何割ほどが取り組むと思いますか。（ ）割程度
② 集落（地区）内の農地面積の何割ほどが取り組めるとと思いますか。 集落（地区）内農地面積（ ）ヘクタールのうち（ ）割程度
③ 集落（地区）内の管理転作田はどのくらいありますか。（ ）アール程度
④ 集落（地区）内の遊休田はどのくらいありますか。（ ）アール程度

【①農家の何割ほどが取り組むと思いますか。（ ）割程度】

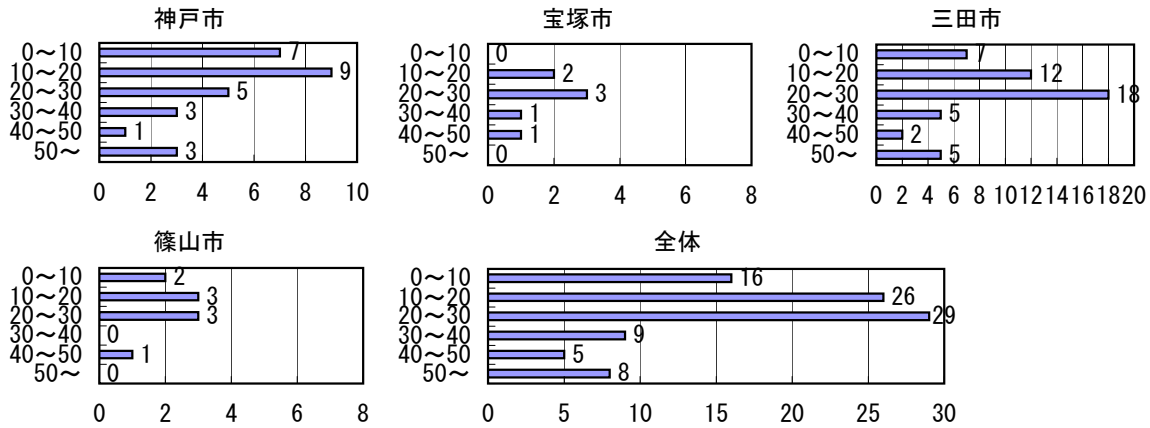
何割程度	神戸市 回答数	宝塚市 回答数	三田市 回答数	篠山市 回答数	全体 回答数
0	2	0	3	0	5
1	6	3	6	0	15
2	4	1	7	2	14
3	3	2	8	2	15
4	0	0	3	1	4
5	9	2	7	2	20
6	1	0	3	1	5
7	3	0	6	1	10
8	1	0	7	0	8
9	1	0	0	0	1
10	2	0	1	0	3



②集落（地区）内の農地面積の何割ほどが取り組めるといいますか。

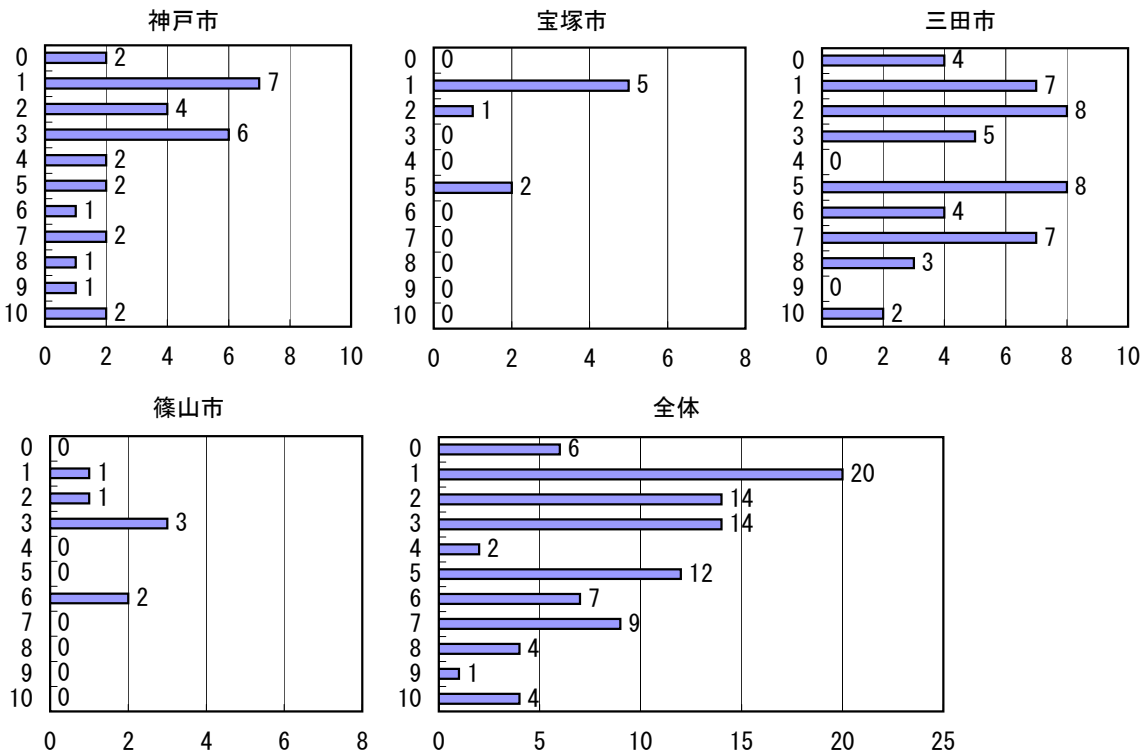
【集落（地区）内農地面積（ ）ヘクタールのうち（ ）割程度】

集落内農地面積 (ha)	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
0以上10未満	7	0	7	2	16
10以上20未満	9	2	12	3	26
20以上30未満	5	3	18	3	29
30以上40未満	3	1	5	0	9
40以上50未満	1	1	2	1	5
50以上	3	0	5	0	8



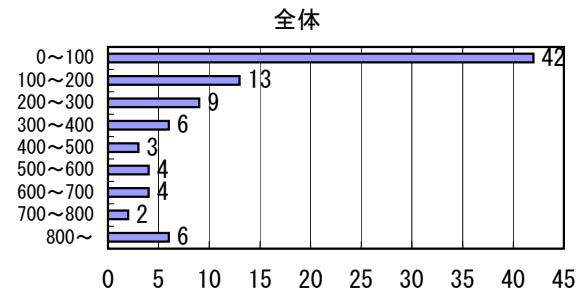
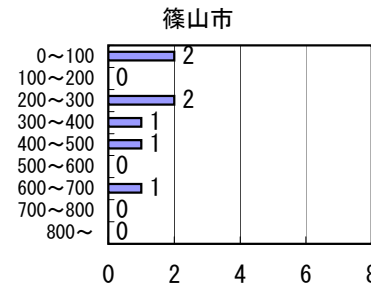
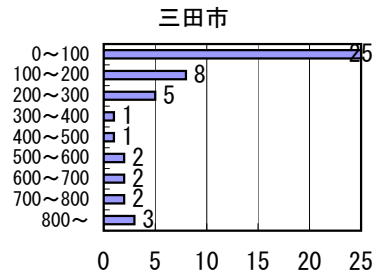
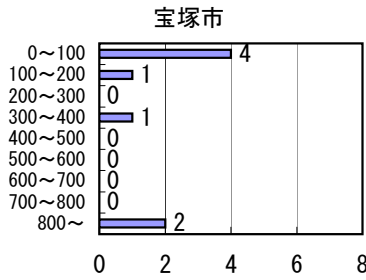
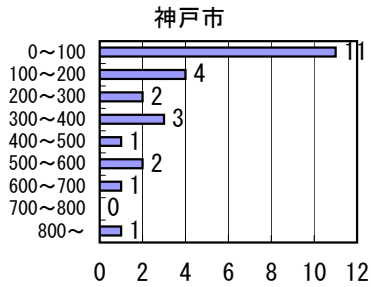
【集落（地区）内農地面積（ ）ヘクタールのうち（ ）割程度】

何割程度	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
0	2	0	4	0	6
1	7	5	7	1	20
2	4	1	8	1	14
3	6	0	5	3	14
4	2	0	0	0	2
5	2	2	8	0	12
6	1	0	4	2	7
7	2	0	7	0	9
8	1	0	3	0	4
9	1	0	0	0	1
10	2	0	2	0	4



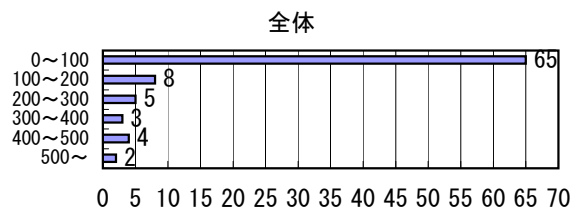
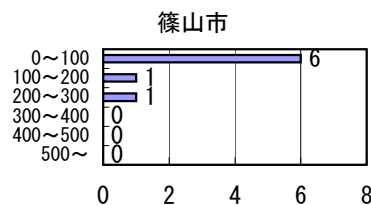
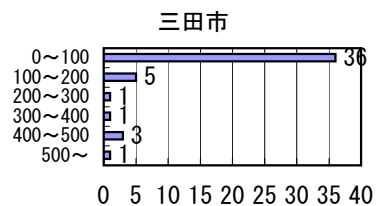
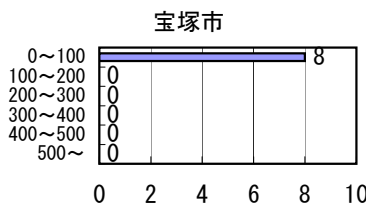
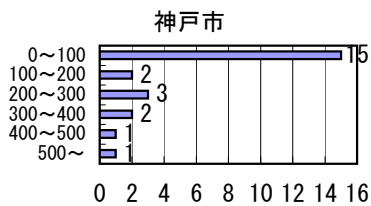
【③集落（地区）内の管理転作田はどのくらいありますか。（_____）アール程度】

管理転作田(a)	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
0以上100未満	11	4	25	2	42
100以上200未満	4	1	8	0	13
200以上300未満	2	0	5	2	9
300以上400未満	3	1	1	1	6
400以上500未満	1	0	1	1	3
500以上600未満	2	0	2	0	4
600以上700未満	1	0	2	1	4
700以上800未満	0	0	2	0	2
800以上	1	2	3	0	6



【④集落（地区）内の遊休田はどのくらいありますか。（_____）アール程度】

管理転作田(a)	神戸市	宝塚市	三田市	篠山市	全体
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
0以上100未満	15	8	36	6	65
100以上200未満	2	0	5	1	8
200以上300未満	3	0	1	1	5
300以上400未満	2	0	1	0	3
400以上500未満	1	0	3	0	4
500以上	1	0	1	0	2



【その他意見】

- ・ 当地区は、もともと地すべり地区の為、水漏れ等の対策をしっかり行わないと、即災害につながる恐れが多分に有、又、土質が粘土の為、長期にわたる貯留は耕作物に（特に野菜）悪影響をおよぼすのでは？
- ・ 当集落には耕作地はありません。町内の集落に点在しているため、その集落が実施されれば協力されると思います
- ・ ニュータウンによる調整池や山陽道、高速道路の集中排水により現在でも地元で協力し合い水田にできるだけ貯留に協力してもらっているが、それでも低位住居に浸水している
- ・ 一時的に貯めるにせよ、畦畔並に排水路の補強は絶対必要である
- ・ 開発された地域の排水はどうなっているか、昔からダム機能が有ると云われる農地にも限度が有ると思いますよ
- ・ 米価が下がり種々補助金が削減される中で、理解をしてもらおうよう説明説得するのは大変難しい、発想は良いが
- ・ 水田より畑作が中心であり水を貯めると悪影響が出る
- ・ 当地区は、ほ場整備もしていない為、畦畔の補強等に費用が多くなり不可能ではと思う。
- ・ 3項条件（①②③④⑤⑥⑦）が農家に納得いくところ迄責任と実行を約束願えれば地区組織代表としては、協力は致します（このアンケート回答は当地区3組織代表と協議結果です）
過去から行政より水田、ため池の貯留を大雨前に放流する様に言われてきた為調整願いたい
圃場整備・・・コントロールが大変、災害時に危険、平成16年の台風13号時オーバー水が畦越し、崩壊したところ数箇所あり
- ・ 当地区は、圃場整備未実施地域であり、又新しい取組みには先ず、しりごみするような感がある。協力する、しないは、全体がその場の流れで動くような気がする
- ・ 当該計画（案）には依存はないが、条件整備の中で「モグラ」対策も必要であると思われれます。昨今モグラの被害が大変多く、畦の被害が増大である。
- ・ 農家それぞれの条件が合えば出来る。しかし特に雨量の多い時なので条件は最悪の事になると思います。
- ・ 現在畦畔高さが20cmもある所はほとんど無い。これだけの説明では回答（結論）が出ません。要は、3の条件（②④⑤⑥）がどこまで整備できるかになります。
- ・ 集落に対して、助成等考えていただけるとありがたいです
- ・ 条件によっては協力するが、内容的に不問なところがある
- ・ こめ、野菜の栽培体系から実際の必要時（梅雨時等）に稼働させにくい
- ・ 堰板を樹脂製とし、水張り時期用、乾燥時用と調整出来る、穴明弁付堰板を設置する。穴の大きさをどれくらいにするかが問題ですが、一番は自動で雨を感知し開閉出来ればいいのでは
- ・ 農業生産組合を2月末に設立し、休耕田、遊休田の活用を予定しているため、不耕作田は少なくなる
- ・ 降雨は自然のものであり、流域の治水対策をしておくべきでしょう
- ・ 私達の集落は営農組織を立ち上げ、地域の活性化を取り組み中です
- ・ 当地区は加古川水系である
- ・ 武庫川の堤防を行政として十分な管理を行って欲しい。草刈り及びイノシシによる穴ボコの改修等・・・地元まかせでは困る
- ・ 地域の条件により大雨時には自らの地域（家）の危険防止に手をとられる、荒廃が進む山林の整備にもっと視点を注ぐ必要がある（机上の計画を越えた対応を要する）
- ・ 兼業農家も多く、田畑の管理にさらなる負担を増やすことは望まない
- ・ 農家の理解を得ることは非常に困難と考えます。楽な農作業に苦勞している状況（乾田化）では。
- ・ 温暖化による局地的な大雨による大水害、植林の未間伐林、年近郊の無計画な宅地増設が水害の拡大につながっている。30～40年前にくらべて武庫川の下流域の水量が渇水時期でも水量増加が見られる。近年の三田、西宮、有馬、宝塚の人口増加による排水対策がいそがれる第一のテーマでは。
- ・ 当地は山間部に位置するため高い畦畔（高い土手）や湿田（乾田しない）が多く大雨時には水田に被害が出る状態である。平野部の水田においては、この件は可能だと考えます。
- ・ 7の問いで3の条件（②④⑤⑥）が合わないとわからない、今の時期農会長としては忙しいのもっと時間の余裕のある時にして欲しい。
- ・ 土地改良後排水が一カ所の為大雨の時、水田の水は満水になる。20cmも上げられない、水が田からあふれ畔が崩壊する。

- ・ 畦畔に「もぐら」が多く生息し、水田の水がすぐ抜けてしまう。「もぐら」対策を指導してほしい。
- ・ 当地区では非常に難しく思えます。
- ・ 田の維持管理に際して、行政サイドから、ほ場整備等事前の整備を推進してほしい。（当地区に限り未整備）
- ・ 農地だけでなく、山も荒れています。総合治水の考え方には賛同できますので、山の保水機能を高めるような施策も検討して下さい。
- ・ 水田に貯留する事により本当に効果がえられるのか？災害は何があるのか分からないので対応がとれないのでは？もっと意見交換が必要では？
- ・ 大雨の時は水田にも雨が貯まり、水田に水を引く事自体無理ではないか？また大雨時は水口に水を引く事は危険である。
- ・ 環境保全向上対策の取り組みで、集落、農会の組織化が最大の課題となる
- ・ 地域排水整備ができないかぎり農業者の負担が増えるだけ。武庫川の排水対策の計画はどのようになっているのでしょうか。